

2016/17 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



第 2554 回例会 2016 年 7 月 13 (水)

SAA (司会) / 津留会員 会報担当 / 伊藤会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F

例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄
- ソング 我等の生業
- お客様 市原中央高校インターアクト顧問 石井先生
市原中央高校派遣生徒 5 名
千葉緑RC 会長 土橋昌江様
千葉緑RC 幹事 秋葉健夫様
- 会長挨拶 市原 RC 会長 西村芳雄

皆さん、こんにちは。本日お見えの千葉緑RCの土橋会長・秋葉幹事、ようこそ御出で下さいました。有難うございます。私は、会長として、4クラブを訪問しましたが、各クラブがそれぞれ独自の例会をなされており大変勉強になっております。千葉緑RCさんには来週訪問させていただきますが、今から楽しみにしております。

また今日は、市原中央高校のインターアクトクラブ顧問の石井先生と、PJ派遣交換学生として選抜された5人の生徒さんが来られております。後程お一人ずつ抱負を語って頂きますが、5月9日に学校で面談しました折には、各人とも目的意識をはっきりと持たれており感心しました。この学生さん達ならば、マレーシアの文化などを色々と研修され、必ずや国際交流を果たして来てくれるものと確信しております。この例会終了後に、小出市原市長を訪問しますが、時間が許せばお一人ずつ、市長に対し抱負を述べて貰います。しかしながら、懸念すべき事が起こりました。それは、会員の皆さんもご承知のように、クアラルンプールで、6月28日イスラム国が関与する事件がありました。そこで上條会員にお願いしPJRCと連絡を取って頂きますと、デビッドホーさんからは、現地は安全な状況であるとの連絡が入って来ております。そこで、PJ派遣プロジェクト委員会は、本日18時より委員会を開催し協議致します。また、17日(日)18時より「オリエンテーション・保護者説明会」を開催します。予定通り実行しようと思っておりますが、保護者の方たち

あるいは学校関係者の意見を聞いて判断せねばと思っています。ところで、先週7日にインターアクト合同会議が木更津総合高校でありました。この件につきましては、箕輪青少年奉仕委員長に報告していただきますが、8月3日に年次大会があります。当日は、当クラブの例会日でもありますし、理事会の開催日でもあります。どう調整すべきか悩んでおります。いずれにしても、来年8月の第51回年次大会は市原中央高校がホスト役となりますので、当クラブからも出席して勉強しておかねばなりません。

さて、本日のメインプログラムは今年度第1回目のクラブ協議会です。各委員長・小委員長さんには、今年度の行動計画を発表していただきます。ロータリーは、「入りて学び、出でて奉仕せよ」です。活力あるクラブにするための活動計画や奉仕計画が発表されるはずです。期待充分です。宜しくお願い致します。なお、今日発表できなかった委員会については27日に行います。

以上で、第2回目の会長挨拶と致します。



◆◆◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆◆◆

- (1) 7月30日(土)にクラブ研修リーダーセミナーが開催されます。当クラブからは、始関さんと小池さんに参加して頂きます。
- (2) 本日、年会費(上期分)の請求書をポストに入れましたので納入をお願いします。
- (3) 8月3日(水)にインターアクトの年次大会が開催されます。ご参加希望の方は幹事までご連絡下さい。
- (4) 市原市献血推進協議会より「7月分の献血予定について」の案内がきております。メールにて配信します。
- (5) 「会員増強・退会防止セミナー」開催の案内がきております。委員長

あるいは委員の方の出席をお願いします。9月3日土曜日です。

(6)「米山委員長セミナー」開催の案内がきております。委員長あるいは委員の方の出席をお願いします。8月27日土曜日です。

(7)「第15回ロータリー全国囲碁大会」の案内がきております。ご興味ある方はご連絡下さい。

(8) 熊本国府高校IACより、市原中央高校IACと連携を図り寄付等の支援活動の要請が、上條会員を通じております。

本日のメインプログラム

「PJ派遣生徒抱負発表」



マレーシア派遣に向けての抱負（順不同）

張 太 賢

こんにちは。この度は、マレーシア派遣という機会を与えて頂き、ありがとうございます。

私の夢は、外交官になり今日起こっている国際間の問題を解決することです。

外交官になるためには、教科勉強などの基本的な学習はもちろん、その他に海外での経験も必要だと私は考えています。

なぜなら、海外での経験はたくさんの外交官になるために必要な力を得させてくれるからです。世界に繋がる広い視野、他者を理解する深い理解力、相手の立場になって物事を考える力、などの三つの力、もしくは、それ以上のものを得ることができると思います。

これらの力は、外交官になるためだけのものではなく、世界で活躍する国際人になるための必要条件でもあったと考えます。なぜなら、世界には私達が経験したことのない文化を背景に生きてきた人ばかりだからです。私はこの9日間のマレーシア派遣を通して、外交官としての力、また国際人としての力を養いたいと思い今回の派遣に参加しました。

私は、中学一年生のとき九月タイで親の仕事の関係で住んでいました。そのとき、タイのインターナショナルスクールでの生活は私の英語力を向上させてくれました。だから、私は、海外で過ごす時間がどれほど大切なものかわかります。この9日間有効に活用して得られるもの

を全て吸収してきたいと思います。また、吸収したものを、自分だけにとどめるのではなく、大切な体験を回りの人と共有して、行ってない人にも学んだこと話したいです。

プロミッツ林 利寿

今回は、こちらのマレーシア生徒派遣プログラムに参加させていただきありがとうございます。

私は、日本以外のアジアの国へ行ったことがなく、近くて遠い存在のように感じます。

同じアジアでも、私が考えている以上に違いがあると思います。日本に住んでいる私からの視点では気づくことがない事を、実際にマレーシアへ行き、自分の肌で感じて来たいと思います。

その中でも特に、文化の違いや日常生活、考え方、環境の違いに着目して中身の濃い経験にして帰ってきたいと思っています。そのためには、ただ楽しむだけではなく、自分から積極的にたくさんの人に声かけたり、質問をすることが大事になってくるので、シャイさを捨て、バンバン人に声を掛けられるように頑張ります。

また、私は英語が好きで得意ですが、話せるだけでは意味がないと思います。その英語をどのように生かすことが出来るかが今回私にとっての一番の課題だと思います。

自分の意見をはっきりさせ相手にそれをしっかりと伝えられるように努力をしたいと思います。また、普段あまり意識をしない小さなことにも目を向けて、成長した姿で帰ってきたいです！私にとって貴重な経験となる素敵なプログラムに参加できることを感謝し、安全に気をつけてマレーシアへ行ってきます！



済 賀 洸 希

インタークト交流事業マレーシア派遣という貴重な機会を作っていただきありがとうございます。

私が今回の派遣事業で大切にしたいことは積極性です。私はまだまだ勉強中の身ですのでコミュニケーションをとるのに十分な英語力があるといえませんが、だからこそ、まちがいを恐れず、くよくよしたりせず、とにかく話してみる。そういった姿勢を忘れず、つまり積極性をもってがんばりたいです。

また、ホームステイ先ではマレーシアの文化にふれるのみでなく、日本の文化を紹介することもしたいです。国際交流というと外国にいて外国の文化にふれることというイメージがありますが、日本の文化を発

信することにも国際交流の一つだと思います。最近では、すしやマンガといった海外でも有名になってきている日本文化もあります。そういったある程度メジャーな日本文化をよりくわしく伝えることも大切ですが、海外では誰も知らないような日本のものを一つ見つけて、紹介できるようにしたいです。そうして日本のよさをガンガンアピールして、ホームステイ先の家族に日本に行ってみたいな、日本のこともっと知りたいな。そんなふうにもってらいい、帰ってこれたらいいなと思います。

以上でスピーチを終わります。

末 吉 紀 花

今回マレーシアに行くことで、英語力を少しでも上げ、英語が少しでも出来るようになれば良いなと思っています。会話などのコミュニケーションは、最初は大変だと思います。ですが、8日間という短い期間ですが、実際に生の英語にふれ、これからの生活に役立てられるようにしたいと思っています。

私は、12月の時に男の子の受け入れをしました。最初はお互いにあまり話さなかったり、英語がなかなか伝わらなかったりと、コミュニケーションの面で、とても苦労しました。ですが、慣れてくると、けいたいや動作などもつかい、何とかして伝えようとしていました。そのようなことをしていたら、いつの間にか来ていた子たちと、とても仲良くなることができました。来ていた子たちが帰るときに、「また来年会おう。」と約束しました。その後も、Twitter や Facebook でやりとりをしていました。私は、今その子達に会うのをとても楽しみにしています。

8日間という短い期間ですが、英語にたくさん触れ、たくさんの経験をしてきたと思います。



吉 野 連

市原中央高校二年の吉野連です。この度はマレーシア研修という素晴らしい機会を与えてくださり、ありがとうございます。この研修に派遣学生として参加できることを本当に嬉しく思います。私は海外旅行やホームステイの経験は何度かありますが、マレーシアへの渡航は今回が初めてです。私は、この研修でしか学べないことをたくさん学んでいきたいという目標をもっています。言葉の壁や文化の違いがあると思いますが、そのようなことを気にせず、自分から積極的により多くの人とコミュニケーションをとっていききたいです。そして、マレーシアの文化や生活を知るだけでなく、日本の良いところを伝えてくることも、目標の一つとします。

この研修で実際に肌に触れ、感じ、理解したことを、今後のインター

アクトの活動に活かしていきたいです。帰国した際には、周りの方々に体験談を話すことができればと思います。マレーシアですぐ九日間を後悔のないよう、一日一日を大切にしていきたいです。

「クラブ協議会」 掲載順不同



長期計画委員会 山本順也

<今年度活動計画>

昨年度、西村委員長の活発な委員会活動が行われましたが、その内容を引き継いでいきたいと思います。

単年度ではなかなか話し合いが難しいテーマについて、検討し、クラブ協議会を行い意見を集約して理事会に提案していきます。

具体的な活動計画として、①細則検討プロジェクト委員会と協働する。

②「活力テスト」を実施して現状分析をする。③クラブ協議会を数回実施したい と思います。



細則作成プロジェクト委員会 万崎会員

活動方針

今回の規定審議会で大幅な定款の変更があり、それに伴い市原ロータリークラブの細則の変更を迫られることになりました。

そこで、市原ロータリークラブにとって、ロータリーの奉仕の理想を追及するために「変えるべきものと、変えてはならないもの」を、しっかりと見極め時代の要請に耐えうる細則の作成に努める。

なお、長期計画委員会とは緊密に連携を取りながら協働して進めることを確認した。

活動計画

1. 作成の考え方として

①ロータリーとは何なのか、何のために市原ロータリークラブはあるのか。

CLPを基本的な考え方にすすめる。

活力あるクラブにするための組織体制を構築する。

②市原クラブの特徴を出すにはどうすればよいのか議論する。他のRクラブ、団体との違いをだすことを念頭にいれる。

③会員にとって有益であり、入りたいと思うクラブ作りを考える

③細則は固定した考えではなく、いつでも変更できるものとして考える
失敗を恐れずチャレンジを試みる。

④議論を活発にするため、会員の意見を随時受付し細則に反映する。

⑤試験期間の導入も考慮する

2. 作成の進め方として

原則として、例会後に委員会を開催し、重要度と優先順位を選択し、細則改正案を作成、そのg会員にアンケートおよびクラブ協議会を実施し意見徴収、集約し、市原クラブ仕様の細則に仕上げる。

3. 作成スケジュール及び作成終了予定

クラブ運営に支障きたさないよう9月上旬を目標に作成する。

4. その他



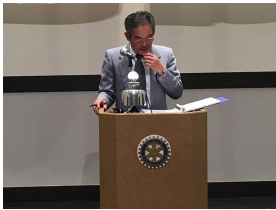
会員増強・退会防止小委員会 万崎 員

〈活動方針〉

長期計画委員会の調査、アンケートに基づき、地域社会人たちのロータリークラブへの認知度を高めることが会員拡大に繋がっていくと思われます。また、会員一人一人が会員増強の気持ちを常に保持して、委員会だけに任せるような会員増強にならないようにPR活動を活発にしていきます。

〈活動計画〉

1. 年度末会員数を45名を目標にします。
2. 細則に基づいた入会パンフレットの作成
3. 公共イメージアップの方策を考える。
4. 長期計画委員会、広報小委員会、出席奨励小委員会、会員研修委員会との連携をとり総合的に会員拡大を考える。
5. 女性会員の増強にも努めます



出席奨励小委員会 西村会長

「活動方針」

クラブの活性化には、多くの会員が例会等に参加し意見を述べ活動することが必要だと思います。存在感を示して頂くためにも出席を奨励します。

「活動計画」

1. 月に少なくとも1回は、全会員にプログラムの内容をメール等で案内し出席を奨励する。
2. 長期欠席者と面談し、出席を促す。
3. 炉辺会談や移動例会あるいは委員会等の不規則時間での参加を促す。
4. 他クラブや地区協議会等へ出席によるメイクアップの要請。



会員研修小委員会 委員長 小池 清二

〈活動方針〉

ロータリークラブの会員増強・退会防止には、ロータリアンがロータリーを理解し、奉仕の実践をし易いような環境づくりが必要です。昨年度に続き新入会員をはじめ、入会3年未満の会員には、会員研修懇話会で学び、他の会員には例会、分区、地区でのロータリー情報を研修して頂きたいと思ひます。

〈活動計画〉

1. 月1回の会員研修懇話会を開催。
時間 午後6時～6時30分 夕食(軽食1,000円)
午後6時30分～午後8時30分 基調講話 ディスカッション
場所 小池歯科ビル2階・研修室
市原市姉崎 531 Tel0436-61-1761
携帯 090-2536-0342
2. 例会卓話 クラブ研修リーダーとの連携で、時宜に応じて実施いたします。2016年度の規定審議での変更点を早急にご理解頂けるよう研修いたします。

3. 予算 30,000 円



クラブ広報委員会 委員長 平野哲也

活動方針

ロータリーのストーリーを人々に伝え、クラブの奉仕活動やプロジェクトに対する地域社会での認識と公共イメージを向上する。

活動計画

- ・広報のターゲット(若者、女性など)を特定し、的を絞ったメッセージを発信する。
- ・地元メディアとの関係を築き、クラブの奉仕活動や行事に招待する。
- ・ホームページ、SNS、広告など様々な媒体を利用してメッセージを発信する。



千葉緑RC 土橋会長・秋葉幹事

西村会長、岡本幹事ご就任おめでとうございます。この1年のご活躍をお祈りいたしております。

西村会長・岡本幹事

千葉緑RC土橋会長、秋葉幹事、本日はお越しいただきありがとうございました。また、市原中央高校の石井先生、5人の派遣学生の皆さん、研修目的が達成され将来への大きな糧となることを祈念しております。そして今年度の行動計画を発表された委員長さん、共に活動し成果を上げていきましょう。杉原さん、入会おめでとうございます。

■出席報告 前々回確定 86.49% 本日出席者 30名
本日欠席者 11名 本日出席率 73.17%

■点 鐘 市原RC会長 西村芳雄